

《Lesson 6》 「助動詞＋受動態」 & 「to 不定詞 + 受動態」

【「助動詞＋受動態」 & 「to 不定詞 + 受動態」肯定文】

受動態に助動詞や need to ○○ / want to ○○ といった「to 不定詞」がつく肯定文では、

be 動詞のところに **be** が使われる

という特徴があります。

【「助動詞＋受動態」 & 「to 不定詞＋受動態」肯定文：基本の形】

主語 + 助動詞 + **be** + 過去分詞 + ～.

主語 + 動詞 + **to** + **be** + 過去分詞 + ～.

<例> It should be explained before the meeting. (それは会議の前に説明されるべきです)

This document needs to be written in Japanese. (この書類は日本語で書かれる必要があります)

【「助動詞＋受動態」「to 不定詞＋受動態」肯定文：作り方】

ステップ①：助動詞/to 不定詞を除いた受動態の文を作る。

ステップ②：助動詞/to 不定詞を「be 動詞」の前に足し「be 動詞」を“be”に変える。

<例 1> 「それは会議の前に説明されるべきです」

ステップ①：助動詞/to 不定詞を除いた受動態の文を作る。

「それは会議の前に説明されます」

It is explained before the meeting.

ステップ②：助動詞/to 不定詞を「be 動詞」の前に足し「be 動詞」を be に変える。

It should be explained before the meeting.

<例 2> 「この書類は日本語で書かれる必要があります」

ステップ①：助動詞/to 不定詞を除いた受動態の文を作る。

「この書類は日本語で書かれます」

This document is written in Japanese.

ステップ②：助動詞/to 不定詞を「be 動詞」の前に足し「be 動詞」を be に変える。

This document needs to be written in Japanese.

【否定文・疑問文・副詞を足す方法】

基本的には、文の種類（be 動詞の文、一般動詞の文、助動詞の文など）のルールをそのまま使います。

<例 1> **Our new member will be introduced tomorrow.** 〈助動詞 **will** の文＋受動態〉

（明日、私たちの新しいメンバーが紹介される予定です）

【否定文】 **Our new member will not (won't) be introduced tomorrow.**

（明日は、私たちの新しいメンバーは紹介される予定ではないです）

【疑問文】 **Will our new member be introduced tomorrow?**

（明日、私たちの新しいメンバーは紹介される予定ですか？）

【＋副詞】 **Our new member will also be introduced tomorrow.**

（私たちの新しいメンバーも明日紹介される予定です）

<例 2> **He wants to be called Jimjin** 〈一般動詞の文＋**to** 不定詞＋受動態〉

（彼はジンジンと呼ばれたいと思っています）

【否定文】 **He does not (doesn't) want to be called Jinjin.**

（彼はジンジンとは呼ばれたくないと考えています）

【疑問文】 **Why does he want to be called Jinjin?**

（なぜ彼はジンジンと呼ばれたいのですか？）

【＋副詞】 **He never wants to be called Jinjin.**

（彼は絶対にジンジンとは呼ばれたくないと考えています）